

子どものインターネット利用について対策をしていますか？

インターネット上のさまざまなサービス（SNS、Blog、無料通話アプリ※など）を利用した情報発信が原因で、子どもたちがトラブルに巻き込まれるケースが全国で増えています。トラブルを防ぐためには、「家庭でのルール作り」や「保護者管理機能の利用」、「スマートフォン（携帯電話）の利用状況の把握」などが重要です。

※LINE、commなど、主にスマートフォン向けに提供されている、無料でメールや通話ができるソフトウェアのこと



家庭で作るルールの例

◆誘い出し・ストーカー被害防止

- ・本名、顔写真などの個人情報を安易に公開しない。
- ・学校名や通学経路が分かる写真を公開しない。

◆他人とのトラブル防止

- ・他人の悪口や中傷する書き込みをしない。
- ・他人の写真や個人情報を許可なく公開しない。

◆犯罪行為・炎上（※）防止

- ・殺人予告や爆破予告など犯行予告を書き込まない。
（冗談や嘘でも犯罪行為になります）
- ・不適切な行為の自慢や嘘を書き込まない。
（アルバイト先で商品を盗んだ、アルバイト先の飲食店で、食べ物に異物を入れたなど）

◆利用状況の把握

- ・問題が起こったらすぐ相談する。
- ・許可なくアプリを入れない。

※炎上：非難や攻撃的な書き込みが殺到する現象のこと。
「祭り」と呼ばれることもある。



有害サイトなどのアクセスを制限する

●フィルタリングを導入する

有害なサイトにアクセスさせないために、フィルタリングの設定が大切です。

⚠️既にフィルタリングを設定しているから大丈夫と安心はできません。

スマートフォンは、Wi-Fi（無線LAN）でインターネットに接続が可能です。Wi-Fiでインターネットに接続した場合、通常のフィルタリングでは、有害サイトへのアクセスが制限できません。そのため、スマートフォン用に用意されたフィルタリングサービスやアプリを導入することが大切です。

●アプリの導入を制限する

アプリを利用した会話（メッセージ）は、フィルタリングでは、内容を制限できません。そのため、「ペアレンタルコントロール」やアプリの導入を制限するアプリを利用するなどして、保護者の許可なくアプリを導入できない設定をすることも大切です。

※群馬県青少年健全育成条例の一部改正（施行：平成24年1月1日）により、青少年が携帯電話でインターネットを利用する場合には、やむを得ない理由がないかぎりフィルタリングを設定しなければなりません。

🔥 インターネットのトラブル事例 🔥

男子高校生が、小学生をいじめている様子の分かる動画を撮影し、「小学生をいじめてみた」というタイトルを付けインターネット上で公開したため、炎上騒ぎへ発展。

無料通信アプリ上で「友達の悪口を書き込まれた」ことを理由に女子生徒を殴ったとして、中学3年の少女2人を暴行容疑で送検。

高校生が、テーマパークでの迷惑行為を自身のBlogで自慢して炎上騒ぎへ発展。

これらの事例では、生徒を批判する書き込みが殺到しました。また、生徒が公開していたプロフィールや書き込みの内容から本名や通学する学校が特定され、学校へ批判や苦情が殺到する事態にもなっています。

時には、保護者の勤務先が特定され、会社にまで苦情が殺到するなど、書き込みを行った本人以外にまで被害が及ぶこともあります。日頃から安全なインターネットの利用について、お子さんとよく話し合しましょう。

子どもを守るために、普段からよく話し合いの機会を持ちましょう。